

海洋資源・産業ラウンドテーブル

平成28年度理事会・総会・全体会合・懇親会関係

(全 体 概 要)

■ 日 時：平成28年7月8日(金) 15:00～19:00

■ 場 所：霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館 (霞山の間及び牡丹の間)

○平成28年度第1回通常理事会 (15:00開始) (霞山の間)

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 議長選出／同挨拶
4. 理事会成立の確認
5. 議事録署名人の選任
6. 議事
7. 閉会

○平成28年度第1回通常総会

1. 開会
2. 総会成立の確認
3. 議事録署名人の選任
4. 議事

<第1回通常総会一時中断・第2回通常理事会に移行>

○平成28年度第2回通常理事会

1. 開会
2. 議事
3. 議事録署名人の選任
4. 閉会

<第1回通常総会再開>

5. 閉会 (15:45)

○第14回全体会合 (16:00～17:20) (霞山の間)

「欧米企業等による深海底鉱物資源の活動動向について」

東海大学海洋学部 客員教授 渡辺喜保様

「JAMSTEC・次世代海洋資源調査技術事業：海洋資源調査産業の市場規模の調査結果について」

「JOGMEC・海底熱水鉱床採鉱技術開発等調査事業：主要欧米企業の海外技術動向調査結果について」

海洋資源・産業ラウンドテーブル 事務局長 兼 海洋産業研究会 常務理事

中原裕幸

○懇親会 (17:30～19:00) (牡丹の間)

－挨拶 主催者代表
来 賓

－乾杯
－歓談
－中締め

以上

「海洋資源・産業ラウンドテーブル」

平成28年度
第1回通常理事会

< 次 第 >

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 議長選出／同挨拶
4. 理事会成立の確認
5. 議事録署名人の選任
6. 議 事
 - (1) 議案1号：平成27年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件
 - (2) 議案2号：平成28年度事業計画および収支予算案の承認に関する件
 - (3) 議案3号：役員を選任（承認）に関する件
 - (4) 議案4号：新規入会会員の承認に関する件
 - (5) その他
7. 閉 会

=====
〔第1回理事会配布資料〕

- 議案1号：平成27年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件
議案2号：平成28年度事業計画および収支予算案の承認に関する件
議案3号：役員を選任（承認）に関する件
議案4号：新規入会会員の承認に関する件

参考資料1：平成28年度事業計画に沿った年間活動予定（案）

参考資料2：会員状況

参考資料3：役員・幹事名簿

「海洋資源・産業ラウンドテーブル」

平成28年度
第1回通常総会

< 次 第 >

1. 開 会
2. 総会成立の確認
3. 議事録署名人の選任
4. 議 事
 - (1) 議案1号：平成27年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件
 - (2) 議案2号：平成28年度事業計画および収支予算案の承認に関する件
 - (3) 議案3号：役員を選任（承認）に関する件
 - (4) 議案4号：新規入会会員の承認に関する件
 - (5) その他
5. 閉 会

=====

〔第1回通常総会配布資料〕

議案1号：平成27年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件
議案2号：平成28年度事業計画および収支予算案の承認に関する件
議案3号：役員を選任（承認）に関する件
議案4号：新規入会会員の承認に関する件

参考資料1：平成28年度事業計画に沿った年間活動予定（案）

参考資料2：会員状況

参考資料3：役員・幹事名簿

「海洋資源・産業ラウンドテーブル」

平成28年度
第2回通常理事会

< 次 第 >

1. 開 会
2. 議事録署名人の選任
3. 議 事
(1) 議案1号：会長・副会長の互選に関する件
4. 閉 会

=====
〔第2回理事会配布資料〕

議案1号：会長・副会長の互選に関する件

議案1号：平成27年度事業報告および決算報告
ならびに監査報告に関する件

I. 事業報告

1. 会議の開催

(1) 総会・理事会

年 月 日	内 容
2015年7月1日(水) (15:30-16:10)	<p>通常理事会 場所：霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館・霞山の間 議題：1. 議案1号：平成26年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件 2. 議案2号：平成27年度事業計画および収支予算案の承認に関する件 3. 議案3号：理事の交代に関する件 4. 議案4号：新規入会会員の承認に関する件</p> <p>通常総会 場所：霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館・霞山の間 議題：1. 議案1号：平成26年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件 2. 議案2号：平成27年度事業計画および収支予算案の承認に関する件 3. 議案3号：会則ならびに会員規定の改定に関する件 4. 議案4号：役員承認に関する件 5. 議案5号：新規入会会員の承認に関する件</p>

(2) 幹事会

年 月 日	内 容
2015年6月15日(月) (15:00-17:00)	<p>第1回幹事会 場所：(一社)海洋産業研究会事務所会議室 議題：1. 平成27年度第1回通常理事会／通常総会、全体会合、懇親会について ・平成27年度第1回通常理事会／通常総会、懇親会の全体概要 ・平成27年度第1回通常理事会／通常総会の議案(案) 2. 平成27年度の年間活動について ・主な活動内容について ・その他 3. その他</p>

2015年10月8日(木) (13:30~15:30)	<p>第2回幹事会</p> <p>場所：(一社)海洋産業研究会事務所会議室</p> <p>議題：1. 前回幹事会及び平成27年度理事会・総会等のご報告</p> <p>2. 平成27年度の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について ・ラウンドテーブル全体会合について ・視察・見学会 ・調査研究委託 ・その他
--------------------------------	---

2. ラウンドテーブル等の開催

(1) ラウンドテーブル全体会合

年 月 日	内 容
2015年7月1日(水) (16:30-17:15)	<p>第12回海洋資源・産業ラウンドテーブル</p> <p>場所：霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館・霞山の間</p> <p>内容：以下のとおり</p> <p>1) French initiatives for seafloor mineral resources exploration and exploitation Mr. Julian Denegre, Technip/French Maritime Cluster</p> <p>2) DCNS' solutions for Deep Sea environmentally friendly activities Mr. Damien Demoor, DCNS</p> <p>3) Deep-sea Mining and the MIDAS Project Mr. Phil Weaver, MIDAS Coordinator, Seascope Consultants Ltd</p> <p>4) Assessing and monitoring the environmental impact of mineral mining: Technological developments at Ifremer Mr. Lenaick Menot, IFREMER Mr. Yve Henocque, IFREMER</p>
2016年2月29日(月) (16:00-18:00)	<p>第13回海洋資源・産業ラウンドテーブル</p> <p>場所：霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館・霞山の間</p> <p>内容：以下のとおり</p> <p>1) 「海洋生態系を評価する」 (国研)海洋研究開発機構海底資源研究開発センター 環境影響評価研究グループリーダー 山本 啓之 氏</p> <p>2) 「ISA・環境ガイドラインの課題と今後の展望」 (国研)海洋研究開発機構海底資源研究開発センター 調査役 福島 朋彦 氏</p>

3. 見学会等の実施

年 月 日	内 容
2015年12月8日(火) ~12月9日(水)	<p>秋田・花岡及び八戸製錬所への見学会</p> <p>場所：エコシステム花岡(株)、八戸製錬(株)</p> <p>参加人数：約15名</p>

2016年1月21日(木)	深田サルベージ建設(株)・多目的作業船「POSEIDON-1」の見学会 場所：横須賀新港 参加人数：約15名
---------------	--

4. 情報受発信事業の実施

(1) ホームページ/会員専用ページの更新

年 月 日	内 容
2015年7月10日(金)	・平成27年度の理事会・総会・懇親会資料を公開
2015年7月13日(月)	・平成27年度「今後の活動に関する会員アンケートの実施」を会員向けに公開
2016年1月27日(水)	・平成27年12月8日(火)～9日(水)に実施した秋田・花岡及び八戸製錬所への見学会の様子を会員向けに公開 ・平成28年1月21日(木)に実施した多目的作業船「POSEIDON-1」の見学会の様子を会員向けに公開

(2) 会員向けお知らせのメールニュースの配信

年 月 日	内 容
2015年7月31日(金)	「海洋資源・産業ラウンドテーブル会員おしらせ vol.13」の配信 ・JOGMEC、途上国技術者へのコバルトリッチクラスト探査研修を実施 ・ISA 法律・技術委員会委員の補欠選挙で日本指名候補が当選 ・JAMSTEC、レアアース泥の成果報告会を8/24に開催 ・「メタンハイドレートフォーラム 2015」が10/1に開催
2015年11月25日(水)	「海洋資源・産業ラウンドテーブル会員おしらせ vol.14」の配信 ・深田サルベージ建設(株)、多目的作業船「POSEIDON-1」をお披露目
2016年1月27日(水)	「海洋資源・産業ラウンドテーブル会員おしらせ vol.15」の配信 ・平成28年度理事会・総会のお知らせ ・会員専用ページを更新

5. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等

年 月 日	内 容
2015年12月～2016年2月	「深海底鉱物資源の探査・開発に関する概要調査」の委託 委託先：有限責任事業組合海洋教育研究所

6. その他

年 月 日	内 容
2015年7月13日(月)	平成 27 年度「今後の活動に関する会員アンケート」の実施 配布：郵送・会員専用 Web サイトでの公開 回収：e-mail、Fax 等 内容：以下のとおり ・ 第 12 回全体会合のご感想 ・ 今後の活動について ・ 調査・研究活動のトピックについて ・ その他

Ⅱ. 決算報告

1. 平成 27 年度収支計算書（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

（単位：円）

目	当初予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
1 会費収入	11,000,000	10,600,000	400,000	正会員・団体会員 20万円 x 51口
(1) 会費	11,000,000	10,600,000	400,000	独法・国研10万 円 x 4口
(2) 特別会費	0	0	0	
2 事業収入	0	0	0	
(1) 事業収入	0	0	0	
3 雑収入	32,000	39,659	△ 7,659	
(1) 受取利息	2,000	3,659	△ 1,659	
(2) 雑収入	30,000	36,000	△ 6,000	主催行事参加費等
当期収入合計（A）	11,032,000	10,639,659	392,341	
支出の部				
1 会議費	3,500,000	2,801,704	698,296	
2 調査研究費	3,500,000	3,996,736	△ 496,736	調査委託費、 見学会費用等
3 印刷費	1,200,000	601,839	598,161	
4 通信費	200,000	66,185	133,815	
5 事務局業務費	2,700,000	2,700,000	0	
6 雑費	50,000	10,688	39,312	
当期支出合計（B）	11,150,000	10,177,152	972,848	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	△ 118,000	462,507	△ 580,507	
前期繰越収支差額（D）	17,197,258	17,197,258	0	
次期繰越収支差額(E)=(C)+(D)	17,079,258	17,659,765	△ 580,507	

参考

1. 平成 26 年度収支計算書（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

(単位：円)

科 目	当初予算額	決 算 額	差 異	備 考
収入の部				
1 会費収入	10,500,000	10,300,000	200,000	正会員・団体会員
(1)会費	10,500,000	10,300,000	200,000	20万円 x 50口、
(2)特別会費	0	0	0	独法10万円 x 3口
2 事業収入	0	0	0	
(1)事業収入	0	0	0	
3 雑収入	2,000	52,034	△ 50,034	
(1)受取利息	2,000	3,034	△ 1,034	
(2)雑収入		49,000	△ 49,000	
当期収入合計 (A)	10,502,000	10,352,034	149,966	
支出の部				
1 会議費	3,000,000	2,956,987	43,013	
2 調査研究費	3,500,000	811,353	2,688,647	
3 印刷費	1,500,000	714,602	785,398	
4 通信費	200,000	71,001	128,999	
5 事務局業務費	2,500,000	2,500,000	0	
6 雑費	50,000	123,336	△ 73,336	
当期支出合計 (B)	10,750,000	7,177,279	3,572,721	
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 248,000	3,174,755	△ 3,422,755	
前期繰越収支差額 (D)	14,022,503	14,022,503	0	
次期繰越収支差額(E)=(C)+(D)	13,774,503	17,197,258	△ 3,422,755	

2. 貸借対照表（平成 28 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	22,827,923	19,841,978	2,985,945
未 収 金	0	0	0
流 動 資 産 合 計	22,827,923	19,841,978	2,985,945
2. 固 定 資 産			
(1)特定資産			
特 定 資 産 合 計	0	0	0
(2)その他固定資産			
そ の 他 固 定 資 産 合 計	0	0	0
固 定 資 産 合 計	0	0	0
資 産 合 計	22,827,923	19,841,978	2,985,945
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	5,168,158	2,644,720	2,523,438
そ の 他	0	0	0
流 動 負 債 合 計	5,168,158	2,644,720	2,523,438
2. 固 定 負 債			
固 定 負 債 合 計	0	0	0
負 債 合 計	5,168,158	2,644,720	2,523,438
III. 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	17,659,765	17,197,258	462,507
正 味 財 産 合 計	17,659,765	17,197,258	462,507
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	22,827,923	19,841,978	2,985,945

3. 正味財産増減計算書（平成28年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会 費	10,600,000	10,300,000	300,000
特 別 会 費	0	0	0
事 業 収 入	0	0	0
雑 収 入	39,659	52,034	△ 12,375
経 常 収 益 計	10,639,659	10,352,034	287,625
(2) 経常費用			
事 業 費	10,177,152	7,177,279	2,999,873
会議費支出	2,801,704	2,956,987	△ 155,283
調査研究費支出	3,996,736	811,353	3,185,383
印刷費支出	601,839	714,602	△ 112,763
通信費支出	66,185	71,001	△ 4,816
事務局業務費支出	2,700,000	2,500,000	200,000
雑費支出	10,688	123,336	△ 112,648
経 常 費 用 計	10,177,152	7,177,279	2,999,873
当 期 経 常 増 減 額	462,507	3,174,755	△ 2,712,248
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	462,507	3,174,755	△ 2,712,248
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	17,197,258	14,022,503	3,174,755
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	17,659,765	17,197,258	462,507
II. 正味財産期末残高	17,659,765	17,197,258	462,507



監 査 報 告 書

海洋資源・産業ラウンドテーブル
会 長 佃 和 夫 殿

平成 27 年度の事業報告および決算報告について監査したところ、いずれも適正かつ妥当であることを確認しました。

平成 28 年 6 月 20 日

海洋資源・産業ラウンドテーブル

監事 中田喜三郎 
監事 田畑日出男 

議案2号：平成28年度事業計画および収支予算案の承認に関する件

I. 平成28年度事業計画（案）

本年度は設立8年目にあたるが、設立の趣旨である、「幅広い視点からの知見にもとづく多角的な検討に基づいた取り組み」を行うことを基点とし、克服すべき諸課題を明らかにしつつ、海洋産業界と鉱業界ならびに周辺業界の間の交流を一層深めるとともに、各種会合、調査・研究等の諸事業の一層の充実を図り、会員への寄与向上と会員内外に向けた情報発信に努める。

1. 会議の開催

総会を1回、理事会を1回以上、幹事会を必要に応じた回数、開催する。

2. ラウンドテーブル等の開催

数回のラウンドテーブル（全体会合）を開催する。その他、必要に応じて、適宜、会合を開催する。

3. 見学会等の実施

海底鉱物資源の開発の参考になると考えられる、鉱山関係あるいは海洋関係の研究施設や産業施設等を対象に、数回の見学会を実施する。

4. 情報受発信事業の実施

会員限定の情報・資料の提供・共有の拡充、さらに関連情報の収集および発信等の充実・強化に取り組む。

- ・ 活動内容の記録や調査研究成果をはじめとする有用資料等の発行・配布
- ・ 会員保有技術の情報共有・提供
- ・ ホームページ／会員専用ページの更新・充実
- ・ 会員向けメールニュースの配信および定期化
- ・ その他、関連する情報受発信活動

5. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等

多角的な立場・視点から情報及び意見交換、さらに必要な調査・研究活動を精力的に行う。

- ・ 海外における海底鉱物資源開発に関連する法整備、各種技術動向、環境保全の把握
- ・ 国際機関等による有用資料やその他資料の翻訳・編集・出版・配布
- ・ 海外における海底鉱物資源関連学会、国際会議等への視察派遣及びそのとりまとめ
- ・ 平成30年度からの第3期海洋基本計画、海洋エネルギー・鉱物資源開発計画の策定内容の在り方に関する意見交換、検討の着手
- ・ その他、会員の意向に基づく有用情報のとりまとめ

6. その他、必要な事業の実施

その他本会の趣旨に沿って、その他の事業活動に取り組む。

- ・ 事業活動に関する会員の意向調査等の実施
- ・ 10周年記念事業の検討着手

Ⅱ. 平成 28 年度収支予算（案）

平成 28 年度収支予算案（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：円）

科 目	平成28年度 予算	平成27年度		備 考
		予算額	決算額	
収入の部				
1 会費収入	11,000,000	11,000,000	10,600,000	
(1)会費	11,000,000	11,000,000	10,600,000	(目標)正・団体会員:20万円×53口、 独法会員:10万円×4口
(2)特別会費	0	0	0	
2 事業収入	0	0	0	
(1)事業収入	0	0	0	
3 雑収入	32,000	32,000	39,659	
(1)受取利息	2,000	2,000	3,659	
(2)雑収入	30,000	30,000	36,000	主催行事参加費収入等
当期収入計(A)	11,032,000	11,032,000	10,639,659	
支出の部				
1 会議費	3,500,000	3,500,000	2,801,704	会場借用料等
2 調査研究費	4,500,000	3,500,000	3,996,736	謝金、作業費、委託費、見学会費、 臨時用役費等
3 印刷費	800,000	1,200,000	601,839	小冊子、調査報告書等
4 通信費	100,000	200,000	66,185	
5 事務局業務費	3,000,000	2,700,000	2,700,000	
6 雑費	50,000	50,000	10,688	
当期支出計(B)	11,950,000	11,150,000	10,177,152	
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 918,000	△ 118,000	462,507	
前期繰越収支差額(D)	17,659,765	17,197,258	17,197,258	
次期繰越収支差額 (E)=(C)+(D)	16,741,765	17,079,258	17,659,765	

議案3号：役員を選任（承認）に関する件

平成28年度は、会則の定めにより、理事改選期あたるため、総会において選任・承認する次期役員候補者を次の通りとする。

(順不同・敬称略)

1. 理事 15名

佃 和 夫	(一社)海洋産業研究会会長
山 内 隆 司	経団連海洋開発推進委員会委員長
黒 木 啓 介	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事長
西 田 計 治	日本鉱業協会会長
青 山 伸 昭	新日鉄住金エンジニアリング(株)顧問
浦 辺 徹 郎	(一財)国際資源開発研修センター顧問
古 賀 衛	西南学院大学法学部教授
佐 野 正 治	石油鉱業連盟大陸棚委員会委員長
島 田 和 明	深海資源開発(株)取締役社長
清 水 琢 三	(一社)日本埋立浚渫協会会長
平 朝 彦	(国研)海洋研究開発機構理事長
長 澤 仁 志	日本郵船(株)代表取締役・専務経営委員
原 壽	(公社)日本船舶海洋工学会会長
毛 利 茂 樹	(一社)日本建設業連合会海洋開発委員会委員長
山 富 二 郎	東京大学大学院工学系研究科名誉教授

2. 監事 2名

田 畑 日出男	いであ(株)代表取締役会長
中 田 喜三郎	名城大学大学院総合学術研究科特任教授

以上

議案4号：新規入会会員の承認に関する件

以下の新規入会申込みを、承認する。

〔正会員〕

日本海工株式会社

(順不同)

・・・1会員

〔個人会員〕

中部大学 加々美 康彦
横浜国立大学 掛江 朋子
高知大学 中山 健

(順不同・敬称略)

・・・3会員

以上

日本海工株式会社

・代表取締役社長 山下 聖一郎

・設立 1956年(昭和31年8月)

・所在地

・資本金 1億円

〒 650-0032

神戸市中央区伊藤町 119 番地 (三井生命神戸三宮ビル)

TEL (078)391-1791

・事業内容

土木工事業・とび土工工事業・鋼構造物工事業

ほ装工事業・しゅんせつ工事業・水道施設工事業

平成 28 年度事業計画に沿った年間活動予定（案）

I. 年間活動予定

	第 1 四半期 (4-6 月)	第 2 四半期 (7-9 月)	第 3 四半期 (10-12 月)	第 4 四半期 (1-3 月)
1. 会議の開催				
(1) 総会・理事会	○ (7/8)			
(2) 幹事会	○ (6/22 : 開催済み)		○	○
2. ラウンドテーブル等の開催				
(1) ラウンドテーブル全体会合		← (適 宜 開 催 予 定) →		
(2) サブテーブル		← (適 宜 開 催 予 定) →		
3. 見学会等の実施	○ (6/23 : 開催済み)	← (適 宜 実 施 予 定) →		
4. 情報受発信事業の実施調査・研究等	← (有用資料配布、Web サイトの更新、「会員お知らせ」随時配信) →			
5. 海洋資源および関連産業の振興に関する調査・研究等		← (適 宜 実 施 予 定) →		
その他	← (会 員 意 向 調 査 等 の 実 施) →			

II. 活動について

○ラウンドテーブル全体会合の候補

- (1) 海上技術安全研究所における海底鉱物資源関係の取組について
講演者：同研究所・海洋開発系深海技術研究グループ、及び水中工学センター
- (2) 港湾空港技術研究所における海底鉱物資源関係の取組について
講演者：同研究所・海洋インフラ技術推進センター（海洋鉱物資源開発における交通運輸分野の技術開発、SIP における音響ビデオカメラ高度化等）
- (3) 産業技術総合研究所における海底鉱物資源関係の取組について
講演者：同・地質情報研究部門大陸棚調査プロジェクト
- (4) 日本近海の石油・天然ガス・メタハイの試掘関係
講演者：エネルギー関連企業
- (5) 地球深部探査船「ちきゅう」の運営関係
講演者：「ちきゅう」運営関係企業
- (6) 紀伊半島沖海洋観測システム（DONET）の配備関係
講演者：電気・通信関係企業
- (7) その他（会員の意向調査にもとづくテーマ）
（海外の研究機関、海外企業関係者等）

○見学会等の実施候補

(1) 鉱山関係

例：三菱マテリアル直島製錬所（香川県香川郡直島町）

(2) その他

例：岩船沖油ガス田、海底広域研究船「かいめい」（平成 28 年 6 月 23 日実施）

○海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等（委託）

(1) 会員企業が保有する技術および技術要素の編集・発刊

(2) 海底熱水鉱床の環境保全に係わる調査

(3) コバルト・リッチ・クラストの探査・開発に係わる調査

(4) OCEANS、OMAE（International Conference on Ocean, Offshore & Arctic Engineering）、
OTC Mining session、UMC（Underwater Mining Institute Conference）等の海外の関連学
会の視察

(5) その他

以 上

海洋資源・産業ラウンドテーブル 会員状況

平成28年7月8日現在

【正会員】

45会員

〔順不同〕

いであ株式会社	東京製綱繊維ロープ株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データCCS	東洋建設株式会社
株式会社大林組	DOWAメタルマイン株式会社
海洋エンジニアリング株式会社	日揮株式会社
海洋技術開発株式会社	日鉄鉱業株式会社
川崎重工業株式会社	日本郵船株式会社
川崎地質株式会社	日本エヌ・ユー・エス株式会社
株式会社環境総合テクノス	日本海工株式会社 *
クニミネ工業株式会社	日本海洋事業株式会社
鉦研工業株式会社	株式会社日本海洋生物研究所
国際航業株式会社	深田サルベージ建設株式会社
五洋建設株式会社	古河機械金属株式会社
JX金属株式会社	株式会社マリン・ワーク・ジャパン
清水建設株式会社	三井金属鉱業株式会社
ジャパン マリンユナイテッド株式会社	三井造船株式会社
深海資源開発株式会社	株式会社三井物産戦略研究所
新日鉄住金エンジニアリング株式会社	株式会社三井三池製作所
住友金属鉱山株式会社	三菱重工業株式会社
石油資源開発株式会社	三菱マテリアル株式会社
大成建設株式会社	みらい建設工業株式会社
株式会社地球科学総合研究所	株式会社森長組
株式会社鶴見精機	株式会社吉田組
東亜建設工業株式会社	

【団体会員】

6団体

〔順不同〕

一般社団法人海洋産業研究会	一般社団法人日本建設業連合会
石油鉱業連盟	日本鉱業協会
一般社団法人日本埋立浚渫協会	一般社団法人日本作業船協会

【独立行政法人会員】

4団体

〔順不同〕

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所	海上技術安全研究所
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所	港湾空港技術研究所
国立研究開発法人海洋研究開発機構	
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	

【個人会員】

27人

〔順不同・敬称略〕

白井 朗	佐古田 彰	葉室 和親
宇都 正太郎	角 洋一	細井 義孝
浦辺 徹郎	高橋 重雄	正信 聡太郎
大木 達也	武山 眞行	村山 雅史
加々美 康彦 *	徳山 英一	山崎 哲生
掛江 朋子 *	中田 喜三郎	大和 裕幸
加藤 俊司	中山 圭子	山富 二郎
古賀 衛	中山 健 *	渡邊 啓介
斎藤 章	橋本 惇	渡辺 喜保

*は新規会員

海洋資源・産業ラウンドテーブル 役員名簿

〔順不同〕

会長	佃 和 夫	(一社)海洋産業研究会会長
副会長(会長代行)	山 内 隆 司	経団連海洋開発推進委員会委員長
副会長	黒 木 啓 介	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事長
副会長	西 田 計 治	日本鉱業協会会長
理事	青 山 伸 昭	新日鉄住金エンジニアリング(株)顧問
理事	浦 辺 徹 郎	(一財)国際資源開発研修センター顧問
理事	古 賀 衛	西南学院大学法学部教授
理事	佐 野 正 治	石油鉱業連盟大陸棚委員会委員長
理事	島 田 和 明	深海資源開発(株)取締役社長
理事	清 水 琢 三	(一社)日本埋立浚渫協会会長
理事	平 朝 彦	(国研)海洋研究開発機構理事長
理事	長 澤 仁 志	日本郵船(株)代表取締役・専務経営委員
理事	原 壽	(公社)日本船舶海洋工学会会長
理事	毛 利 茂 樹	(一社)日本建設業連合会海洋開発委員会委員長
理事	山 富 二 郎	東京大学名誉教授
監事	田 畑 日出男	いであ(株)代表取締役会長
監事	中 田 喜三郎	名城大学大学院総合学術研究科特任教授

幹事名簿

〔順不同〕

栗 島 裕 治	ジャパン マリンユナイテッド(株)海洋・エンジニアリング事業本部 海洋・エンジニアリングプロジェクト部長
今 北 明 彦	三井造船(株)技術理事
今 酒 誠	大成建設(株)執行役員環境本部長
加 藤 元 彦	日本鉱業協会専務理事
木 川 栄 一	(国研)海洋研究開発機構海底資源研究開発センター長
坂 本 隆	新日鉄住金エンジニアリング(株)戦略企画センター海底資源開発事業推進部長
塩 川 智	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構金属資源技術部長
田 中 壮一郎	深海資源開発(株)探査推進本部海洋調査部長
戸 田 和 彦	(一社)日本建設業連合会常務執行役
中 原 裕 幸*	(一社)海洋産業研究会常務理事
福 田 功	(一社)日本埋立浚渫協会専務理事
矢 野 州 芳	三菱重工業(株)交通・輸送ドメイン船舶・海洋事業部技術統括室特殊船・海洋グループ主席技師

[* 事務局長]

議案1号：会長・副会長の互選に関する件

理事の互選により、正副会長に次の方々を選任する。

(順不同・敬称略)

会長	佃 和 夫	(一社)海洋産業研究会会長
副会長※	山 内 隆 司	経団連海洋開発推進委員会委員長
副会長	黒 木 啓 介	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事長
副会長	西 田 計 治	日本鉱業協会会長

(※ 会長代行)

以上